

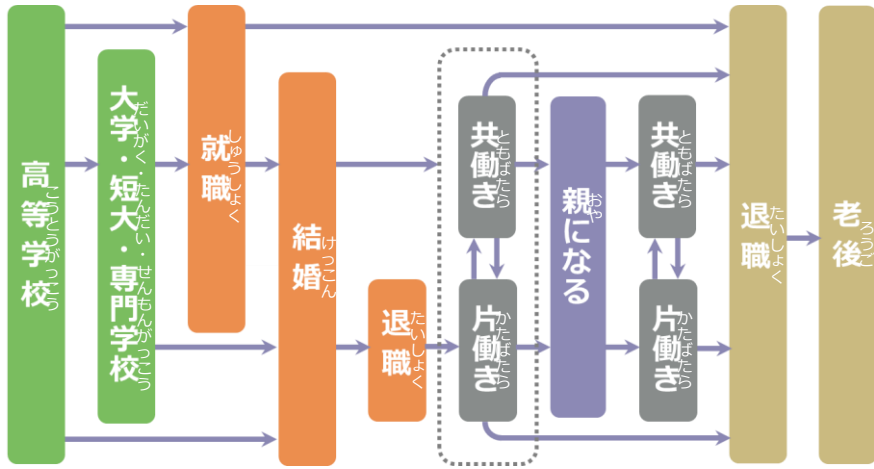
ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前

1. 生活設計とお金

[1] 将来を考える

生活設計とは、自分の将来について こと。

[2] さまざまなライフコース



[3] ライフイベントとそれにかかる費用

Table with 3 columns: Question (e.g., wedding costs, new housing, education), 'My Answer' (自分の解答), and 'Correct Answer' (正しい解答).

[4] まとめ

と は、セットで考える必要がある。

2. リスクへの備え

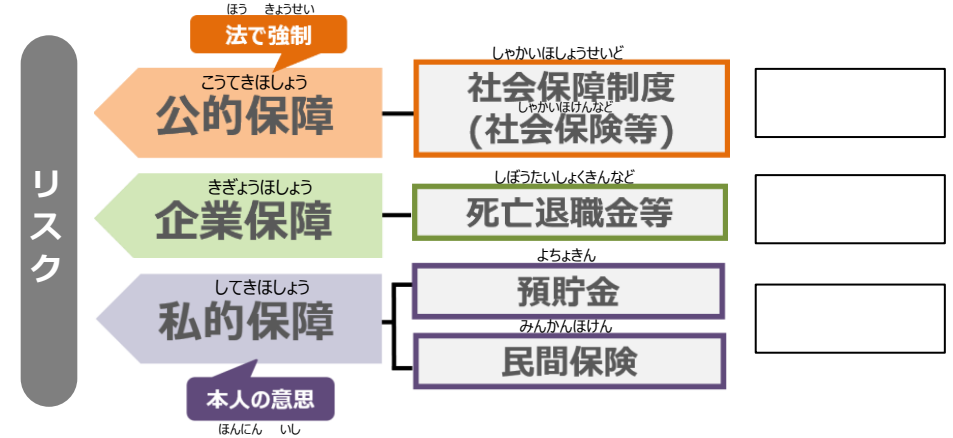
[1] リスクとは何か

普段の生活の中でどんなリスクがあるか考えてみよう。

[2] 生活設計に影響のある重大なリスク

Reference data for risks: A. Traffic accidents (290,895 cases/year), B. Average new hospital admissions (42,210/day), C. Percentage of people dying by age 65.

[3] リスクに備える3つの保障

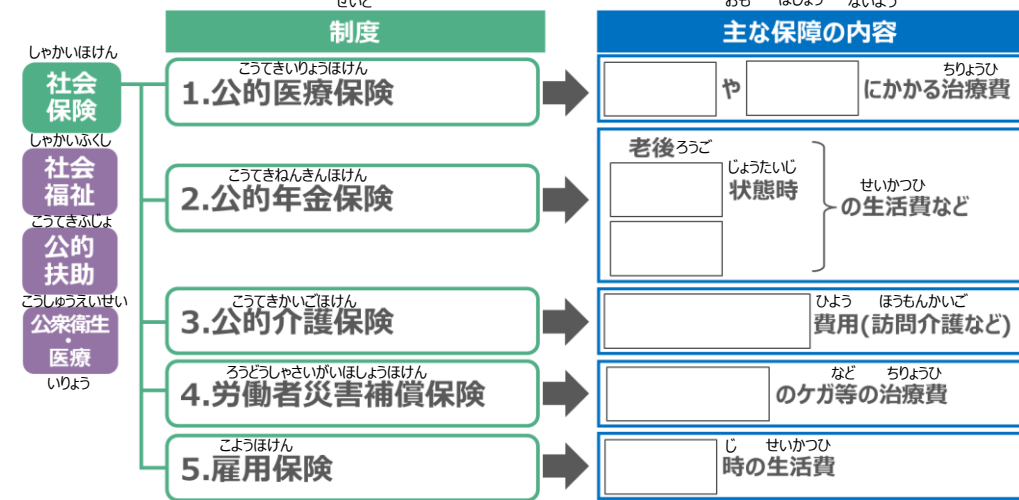


[4] まとめ

リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。 と 企業保障 で不足する部分を で補う。

3. 公的保障と私的保障

[1] 社会保障制度の概要



(発展課題) 困ったときに受けられる公的保障を考えてみよう

状況	制度
定年退職して老後の収入が無くなった	公的医療保険
会社が倒産し、失業した	公的年金保険
介護が必要な状態になった	公的介護保険
一家の働き手が亡くなった	労働者災害補償保険
病気で入院した	雇用保険
会社員が仕事でケガをした	

[2] 預貯金と民間保険

	預貯金	民間保険
目標額	1,000万円	30万円
貯蓄額	100万円/年	3万円/年
特徴	目的のために貯める	の損失に備える
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 貯めたお金は自由に使うことができる。 途中で引き出しや貯めるペースが自由。 預けた金額に応じて利子がつく。 	<ul style="list-style-type: none"> 途中いつでも、病気やケガ等のリスクが発生した場合に、あらかじめ金額を受け取ることができる。
デメリット	途中で病気やケガ等、リスクが発生した場合に、金額が貯まっているとは限らない。	結果的にリスクが発生しなくても、決められた金額を保険料として支払う必要がある(保険の種類によっては一部戻ってくる場合がある)。

[3] 生命保険と損害保険

	生命保険	損害保険
対象		
受け取り額	あらかじめ約束した金額(定額給付)	事故により発生した損害額(実損填補)
備えられるリスク	<ul style="list-style-type: none"> 死亡 病後 介護 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故 台風や地震 火事 ケガ

[4] ライフステージによる必要な保障の違い



[5] まとめ

家族構成や年齢によって必要な保障は異なる。

に応じて、リスクへの備えを考えよう。

● 今日学んだことや気づいたことについて、書いてみよう
